

私のカルテ

山形県
地域連携クリティカルパス



お名前 .

i:Ver.25.11.1

はじめに

この手帳は、手術や治療を施行した病院と地域のかかりつけ医が協力し、あなたの治療経過を共有し、共同診療体制を築き上げる「治療計画表」のことで、病院とかかりつけ医が協力して、あなたの治療を行います。

この『連携パス』を活用することで、治療病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は治療病院が行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて治療病院を受診していただきます。

また、**緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、治療を行った病院**

_____ (TEL _____) までご連絡ください。

御本人の診療に関する情報が書き込まれますので、紛失等の無いよう管理に十分御留意下さい。

もくじ

胃がんについて：

退院後の日常生活：

胃手術後の症状について：

退院後もこれだけは忘れずに：

わたしの基本情報、手術・治療情報：

診察・検査予定表：

診療記録：

メモ：

関係医療機関各部署の連絡先：

胃がんについて

胃がんは、早期発見の場合、そのほとんどは手術によって治すことができます。しかし、まれに再発を来したり、胃が残っている場合は別にがんが生じたりすることがあります。したがって、手術後も定期的に検査を受けたほうが良いでしょう。

また、胃を切除したあとは、食事摂取がなかなか進まなかったりするなど、胃切除後の後遺症として、さまざまな症状が生じやすいのも事実です。

そこで、定期的に受診していただき、胃がんの手術後も安心して過ごしていただくために、かかりつけ医と病院が連携して診療にあたります。

手術を受けられたご本人と病院、かかりつけ医を結びつけるのがこの手帳となります。

退院後の日常生活

手術後の食事について

手術後に一番大きく変化するために注意が必要なのは食生活です。食物を貯留する胃の働きが失われるために、手術前と同じような量や速さで食事を摂取することは困難になります。したがって次に示すことに注意しましょう。

- ・食事を食べる時は、必ず座って食べましょう。
- ・一口ずつよく噛むようにして、30分以上かけてゆっくり食べてください。
- ・食事の後はすぐに横にならずに、30分以上座っていきましょう。
- ・食事と食事の間は、散歩など体を動かすようにしましょう。
- ・初めは一日5～6回の分食を心がけましょう。手術前の5～6割くらい食べられるようになったら、通常の3回食に戻しても構いません。
- ・食事内容は栄養指導の内容、パンフレットを参照してください。
- ・よく噛めばお粥でなくても普段のご飯で構いません。

社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。

胃手術後の症状について

胃手術後の症状

1. 小胃症状

胃の切除に伴い、食物を貯留する場所がなくなるために生じる症状です。余計に食べると苦しくなったり、痛みが出たりします。1回の食事量を控えるようにしましょう。残っている胃が大きくなることはありませんが、徐々に1回に摂れる量は増えてきますので、特に初めの数ヶ月は胃切除後の食事の基本を守ることが大切です。

2. 逆流症状(逆流性食道炎)

食べたものや、胃液(酸っぱい)や苦い腸液(苦い)の逆流が起こり易く、胸やけや喉もとのいらいら感などの症状につながります。胃切除後はこうした逆流が起こり易いので、食後はすぐに横にならずに座っているようにしましょう。また、就寝時は上体を少し高くしましょう。症状が強い場合は内服薬による治療が必要になります。かかりつけの医師に相談してください。

胃手術後の症状について

3. ダンピング症候群

1) 早期ダンピング症状

食事中や食後30分の間に、「冷や汗が出る」「ときどきする」「めまいがする」「お腹がぐるぐるする」「下痢をする」などの症状が出ます。急に食物が入ったための症状です。

症状が出た時には、食事を中断して腸を安静にするのが良いでしょう。

予防には、特に食べ始めに少しずつ食べるように心掛けること、食事中の水分を控えること、そして食事の基本を守ることです。水分は食後しばらくたってから補給するようにしてください。

2) 後期ダンピング症状

食後2時間ほど経ったころに起る低血糖症状です。「冷や汗がでる」「全身の力が抜けそうになる」「手が震える」「意識がぼやっとする」などがあります。

こうした症状が出た時には、砂糖やあめ、チョコレート、あるいは甘いジュースを摂るようにしましょう。予防には、やはりゆっくり食事を摂ること、食事の糖分や炭水化物を控えること、長時間空腹にせず、分食やおやつを摂ることです。

胃手術後の症状について

4. 貧血

胃切除術では鉄分が、胃全摘術では鉄分やビタミンB12の吸収が少なくなり、貧血が進行することがあります。そうした場合は内服薬や注射で不足した成分を補う必要があります。

貧血症状にはめまい、立ちくらみ、ふらつき、息切れなどがあります。症状がある場合はかかりつけ医に相談してください。

5. 下痢

胃の手術後は消化するはたらきが低下しているため、消化不良で下痢、軟便が生じやすくなります。下痢の場合は水分を補給するようにしてください。

6. 便秘

便秘も起こり易い症状のひとつです。2日間便が出なかったり、便が硬い場合は水分をとるとともに、下剤を服用したほうが良いでしょう。

胃手術後の症状について

7. 腸閉塞

腸閉塞は手術後の癒着や腸管の捻れなどで生じます。症状は「お腹が張る」「ガスが出ない」「吐き気・嘔吐がある」「お腹の痛みがだんだんひどくなる」などです。このような症状のときはすぐにかかりつけ医あるいは病院に連絡してください。

8. 胆嚢結石症

胃の手術後は約20%の方に胆石ができると言われていています。みぞおちや右上腹部に痛みが出現した場合は胆石症も念頭におく必要があります。かかりつけ医に相談してください。

退院後もこれだけは忘れずに！

定期的な診察や検査に行きましょう

術後**5年**を目処に、定期的な診察や検査を行います。
診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は胃がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、手術後の状態を安定させるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。

退院後もこれだけは忘れずに！

悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ち大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、**明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。**

わたしの基本情報

記載日 年 月 日

ふりがな

氏名 _____ (生年月日 年 月 日) _____ 歳 男・女

住所 _____ 電話 _____ .

(緊急連絡先電話番号)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 血液型 _____ .

手術病院

かかりつけ機関

カルテ番号 (_____) (_____) (_____)

特記事項 (アレルギー歴・薬の副作用情報・今までかかった病気・その他)

わたしの手術・治療情報(1)

手術日 平成・令和 年 月 日

手術術式 開腹 ・ 腹腔鏡下

幽門側胃切除 ・ 幽門保存胃切除 ・ 噴門側胃切除

胃全摘 ・ 胃分節切除 ・ 胃部分切除

その他()

再建方法 Billroth I ・ Billroth II ・ PPG(幽門保存)

Roux-enY ・ 食道残胃吻合 ・ 空腸間置

ダブルトラクト法 ・ その他()

最終診断 T1a(M)・T1b(SM) N0 H0 P0 M0 Stage I A

T1a(M)・T1b(SM) N1 H0 P0 M0 Stage I B

T2(MP) N0 H0 P0 M0 Stage I B

わたしの手術・治療情報(2)

その他特記事項

診察・検査予定表：胃がん(ステージ I A)

手術日： 年 月 日

術後経過 年月日	1年			2年			3年	4年		5年				
	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月					
	/	/	/	/	/	/	/	/	/					
問診・診察	○	●	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●
採血検査 (腫瘍マーカー)	○	●	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●
CT検査または 腹部超音波検査				●				●		●		●		●
上部消化管内視鏡				◎				◎		◎		◎		◎

※計画変更の場合は
手書きで追加、抹消(二重線)

●は手術病院で行います。
○はかかりつけ機関で行います。
◎は手術病院またはかかりつけ機関のいずれかで行います。

最低限必要な診療(3~6ヶ月毎)について表示しています。
その間の診察、検査、投薬については手術病院・かかりつけ機関の判断で行います。

診察・検査予定表：胃がん(ステージ I B)

手術日： 年 月 日

術後経過 年月日	1年			2年			3年		4年		5年				
	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月				
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
問診・診察	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	
採血検査 (腫瘍マーカー)	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	
CT検査または 腹部超音波検査		●		●		●		●		●		●		●	
上部消化管内視鏡				◎				◎				◎			◎

※計画変更の場合は
手書きで追加、抹消(二重線)

●は手術病院で行います。

○はかかりつけ機関で行います。

◎は手術病院またはかかりつけ機関のいずれかで行います。

最低限必要な診療(3~6ヶ月毎)について表示しています。

その間の診察、検査、投薬については手術病院・かかりつけ機関の判断で行います。

診療の記録 (退院時)

サイン

退院日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
 術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
 つかえ 腹痛
 逆流症状・胸やけ 便秘
 吐き気・嘔吐 下痢
 倦怠感 発熱
 動悸
その他 (_____)

検査

- 採血
 CT
 食道胃内視鏡
 その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (6ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 ()

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (1年後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 (_____)

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

通信欄(1年目)

【かかりつけ医→手術病院】

【手術病院→かかりつけ医】

年月日

サイン

年月日

サイン

診療の記録 (1年3ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 ()

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (1年6ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 ()

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (2年後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
 術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
 つかえ 腹痛
 逆流症状・胸やけ 便秘
 吐き気・嘔吐 下痢
 倦怠感 発熱
 動悸
その他 ()

検査

- 採血
 CT
 食道胃内視鏡
 その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

通信欄(2年目)

【かかりつけ医→手術病院】

【手術病院→かかりつけ医】

年月日	サイン
-----	-----

年月日	サイン
-----	-----

診療の記録 (2年6ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 ()

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (3年6ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
つかえ 腹痛
逆流症状・胸やけ 便秘
吐き気・嘔吐 下痢
倦怠感 発熱
動悸
その他 ()

検査

- 採血
CT
食道胃内視鏡
その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (4年6ヶ月後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
 術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
 つかえ 腹痛
 逆流症状・胸やけ 便秘
 吐き気・嘔吐 下痢
 倦怠感 発熱
 動悸
その他 ()

検査

- 採血
 CT
 食道胃内視鏡
 その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

診療の記録 (5年後)

サイン

受診予定日 年 月 日 受診日 年 月 日

身体の状態

体重 _____ kg

食事摂取量

- 術前の1~3割 術前の4~6割
 術前の7~9割 術前と同様

症状

- 食欲不振 ふらつき
 つかえ 腹痛
 逆流症状・胸やけ 便秘
 吐き気・嘔吐 下痢
 倦怠感 発熱
 動悸
その他 ()

検査

- 採血
 CT
 食道胃内視鏡
 その他の検査

臨床所見

- 異常あり 異常なし

検査結果

- 異常あり 異常なし

CEA : _____ ng/ml

CA19-9: _____ IU/ml

コメント (結果貼付欄)

通信欄(3年～5年)

【かかりつけ医→手術病院】

【手術病院→かかりつけ医】

年月日	サイン
-----	-----

年月日	サイン
-----	-----

メモ

メモ

各部署の連絡先

手術(治療)病院【緊急時連絡先】

TEL:

診療担当科:

担当医:

かかりつけ医療機関(1)

TEL:

診療担当科:

担当医:

かかりつけ医療機関(2)

TEL:

診療担当科:

担当医:

かかりつけ薬局

TEL: